

公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果(児童発達支援)

事業所名	こどもの森うらここ	公表日	令和8年 3月 23日
		利用 児童数	16人
		回収数	11人 (68.75%)

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	○					事業所は広くはありませんが、それぞれの遊具がぶつからないような配置を研究し安全に努めています。また、広過ぎない環境により様々な姿勢を経験し自分の体を感じ安心できるよう工夫しています。法人、地域の施設利用や自然体験活動の充実を図っています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	○				こどもの1対1でみてもらえるのでありがたい。	常に基準の人員配置より多く職員を配置し、児童と大人の1対1の関わりができるようにしています。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	○					洗面台の高さ、玄関スロープや手すり、天井に吸音材を使用し安全で安心できる空間に配慮しています。絵カードや文字の予定表、手順書など可視化し見通しをもちやすい環境を心掛けています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	○				子どもの遊べる場所、他児との程よい距離で遊べていて良いと思う。	全室に暖房器具、今年度はホールのほかに作業室や相談室にも冷房器具の設置や、床の衝撃吸収マットの膨張部分を処理し段差なく安全な環境に努めました。感染症対策を継続しながらも家庭的で暖かい空間を心掛けています。
	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	○				細かく子どもの事を観察し支援していると感じる。日によって変わる子どもの気持ちに寄り添った支援がされていると思う。	ご家庭や保育施設、うらここでの様子を知り児童一人ひとりへの理解を深めていきます。外部スタッフからの目線や職員研修、地域連携により職員の視野を拡げスキルアップに努めます。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	○					R7.2月よりホームページにて公開していますが、今後も年1回程度定期的に公開していきます。事業所の事業計画と合わせ、児童の個別支援計画案にも反映させていきます。
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	○					相談支援事業所や保育施設など関係者からの聞き取りや保護者面談、子どもの様子を観察し更に所内で会議を行い様子を共有し計画を立てています

適切な支援の提供	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	○				子どもの様子にあった計画になっていると思う。	ガイドラインに沿い具体的で支援内容の分かりやすさに努めています。家庭、児童のニーズに合わせた支援、適切な関係機関との連携を心掛けています。地域の大人に見守られ安心して育つことができるよう、他職種、他団体との関わりを大切に様々な企画をしています。	
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	○					計画を元に所内のケース会議にて担当者だけでなく職員全体で情報共有、共通理解を図っています	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	○				手作業での活動や公園で体を動かす時もあり色々な事をしていて助かる。	週替わりで企画担当者を変え、季節に合わせた自然あそびや行事を多く取り入れるようにしています。複数のあそびを組み合わせたり材料を変えるなど、知っている安心の中にも新しい刺激を取り入れています。	
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	○			○1	○1		児童が普段通っている保育施設への訪問の機会を増やす事で、いつもの人との交流の場で居心地よく活動できるよう応援していきます。保育施設に所属していない児童も法人内の幼稚園や公共施設、公園等に出掛け他児との関わりを無理なく応援しています。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	○					契約時や請求時、内容の変更時などに個別に実施しています。ご不明な点をお気軽に問い合わせできるように普段のコミュニケーションを大切にしています。	
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	○				毎回丁寧な説明がされている。	半年ごとのモニタリング、個別支援計画の見直しの際に保護者と面談しご意見をお聞きしながら作成、ご説明させていただいています。	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	○					月1回の保護者会を開催し、時には委託専門スタッフも参加し安心や学びの機会としています。地域の別の保護者会との合同開催も企画しています。専門スタッフによる個別相談、地域の学習会へのお誘いや参加の取りまとめもしています。保護者会との同時間療育や日時設定など安心して参加出来る方法を模索していきます。	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	○			○1			連絡ノートやお電話などで日々の様子や気になる変化を聞かせて頂いています。保護者の希望により母子通所も受け入れており直接お話ししながら一緒に子育てを考えていきます。定期的に個別面談や家庭訪問を行っている他、ご希望により作業療法士や心理士、言語聴覚士の相談も行っています
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	○						

保護者への説明等	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	○				これからも安心して一人ひとりのもつ「育つ力」を発揮できるように大人も子どもと一緒に楽しい時間を過ごしていきたいと思います。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	○			○3	保護者会がとても楽しかったが、その分利用料も掛かるので少し切ない。(所得上限額により利用料が多くかかるため加算を少し気にしてしまう)。きょうだい同士の交流の機会はないが、きょうだいに対する助言などの支援はされている。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	○				相談、申入れ等は即担当者と共有して折り返し当日中に連絡するようにしています。意見箱を玄関に設置し文字が苦手な子は絵や職員の代筆など誰でも意見を伝えやすい環境に心掛けていますが、定期的に再周知します。今後も迅速な対応に心掛けます。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	○				児童が利用している保育施設とも利用日程や児童の様子を共有し伝達漏れがないよう努めています。保護者と電話や連絡帳を交換し互いの場での児童の様子共有や連絡事項を記入しています。今後も不安や心配を次の日に持ち越さないように心掛けていきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	○			○1	毎月の通信発行、ホームページでも情報公開しています。自己評価表の集計結果は用紙で各家庭にお配りする他、毎年3月にホームページで公開しています。ホームページがある事についても今後こまめに再周知致します。
非常	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	○			○1	今後も徹底致します。通信やホームページでは顔写真を掲載しない又は一部修正して掲載しています。個人情報の含まれた書類は鍵の掛かる書庫に保管し持ち出す事がないよう徹底しています。
	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	○			○2	各種マニュアルを作成し年度初めに全職員で研修会を開催し周知、内容確認しています。今後は契約時の他にも保護者に周知する機会を検討します
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	○			○2	年2回の避難訓練(地震災害、火災を想定)の他、実際に地震発生時にも練習し実施後に通信で報告しています。地域の訓練にも可能な限り参加し訓練予定も通信でお知らせしていきます。

時等の対応	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	○			○1	戸外、自然遊びの注意点や安全な遊具の使い方、安心な動作の補助方法など全職員で実際の場所の確認や研修をして学んでいます。子どもの個性に合わせた危険回避の方法について今後も研究を重ねていきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	○			○2	怪我無く安全に過ごす事ができるよう最善の注意を払っています。怪我をしてしまった場合には状況や処置について、その後の様子に着いても保護者や保育施設にもご説明、それぞれの場でのその後の様子も伺います。事業所で加入している傷害保険の手続きをさせて頂く場合があります。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	○				今後も安心して居心地の良い空間づくり、楽しいあそびの企画提案を心掛けます。保護者にとっても安心してお気軽にご相談できる場であるようにしていきたいと思っています。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	○				いつも通所を楽しみにしている。毎回楽しく通所している。ありがとうございます。外部専門スタッフ訪問は委託可能な曜日に限りがありますが、別日に利用している方でもお気軽に訪問日に来て頂けるよう、配慮してまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	○				預かってもらっている分自分のリフレッシュにもなる。ありがとうございます。普段児童が通う保育施設の楽しい行事、集団参加の機会の妨げにならないように出来る限り利用日程を相談調整し普段が安心で笑顔であるように応援して行きます。